

平成33年4月開校へ向けて 計画を推進

11月13日に開催された奈良市議会観光文教委員会で、神功地区自治連合会と神功小学校PTAが提出している「平城西中学校区における施設一体型小中一貫校の早期開校を求める請願」についての審査が行われました。その中で、教育政策課長が、委員からの質問に答える形で、開校に向けてのスケジュールを「開校は、平成33年4月を目指す。そのため平成31年度に設計、業者選定、発注をし、平成32年度に建設工事を実施する」と説明しました。

市は保護者や地元の理解を得られるように丁寧に説明を重ね、意見を聴いていくとともに、児童・生徒がスムーズに移行できるように交流等を進めていくとしています。これまで全く示されなかった開校時期が示されたことは大きな進展です。3月の市議会で、来年度の予算として、設計のための費用等がきちんと確保されることを期待します。

施設一体型小中一貫校 開校にむけたスケジュール

(2018年11月13日観光文教委員会での市の答弁より)

H31年 設計・業者選定
H32年 建設工事
H33年 4月開校

市の説明会開催

12月15日(土)

10時半～

(平城西公民館大会議室)

12月15日(土)、奈良市から神功小学校保護者を対象とした説明会が開催されることになりました。「地域落ち葉清掃」の後の開催になります。

開校時期が示されてから初めての説明会となります。より具体的な今後の予定や、新しい学校のイメージが聴けるのではないかと思います。多くの保護者の方が説明会に参加いただくことが、市の計画の後押しになります。説明会へのご参加よろしくお願いいたします。

※説明会への参加が難しい方もおられると思います。複数回説明会を開催することも可能ですので、説明会開催へのご意見・ご要望がありましたら、メール等でお知らせください。

メール：nara.jingu.tekiseika@gmail.com



お気軽にご連絡
ください ⇒



学校規模適正化 奈良市で新チームが始動！！

10月より、奈良市長から直々に計画推進の命をうけて、奈良市教育委員会に新たに学校規模適正化計画を担当するチームが結成されました。教育政策課の課長補佐を筆頭とする3名のチームです。

新体制を受けて、10月10日、神功小学校図書室において、教育政策課と神功地区関係者が会合をもち、早期の具体的な計画推進を要望しました。

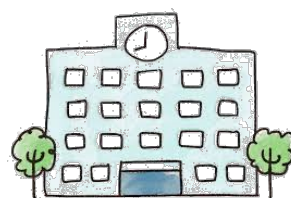


要望書提出&副市長と懇談

11月7日、神功自治連合会と連名で、奈良市長および教育長、教育委員への要望書を提出しました。新しい学校ができるまでの間、神功小学校のひどい現状が放置されないよう、中学校への仮移転も含めて対応を要望するものです。11月21日には、自治連合会とともに、副市長、教育委員会との懇談も行い、早期の説明会開催や、神功小学校の現状の雨漏り等への対策を直接、お願いしました。



小中一貫教育 Q&A



平城西中学校区では、10年前より、奈良市のパイロット校として小中一貫教育が実施されていますが、市の計画により新しく施設一体型の小中一貫校となることで、小中一貫教育はどのように変わのでしょうか。市のHPに紹介されている内容や、市の担当者の方にお聞きした内容をQ&Aとしてご紹介します。

Q 施設一体型小中一貫校になるとどうかわりますか？

A 小学生と中学生が同じ学校で学ぶことになるため、小中間の連携の取組が日常的に実施されるようになります。また、中学教員による小学生の指導（教科担任制の実施）等も可能となります。先行する田原小中学校や富雄第三小中学校では、音楽、体育、図工、外国語、理科などで実施されています。

Q 施設一体型小中一貫校のメリットデメリットはなんですか？

A （奈良市教育委員会回答）

メリットについては、「小中一貫教育による効果を最大限に引き上げることができる」という点にあります。具体的には以下の通りです。

- ・ 同じ校舎で小中学生が学んでいるので、交流型の行事が行いやすい。
- ・ 教員は小中9年間の成長を見届けることができる。
- ・ 職員室を小中で1つとし、児童生徒理解のための情報共有や小中合同研修会等の取組が行いやすい。
- ・ 日常的に中学生と小学生が関わり合うことで、中学生のリーダーシップが発揮され、また、小学生が中学生に憧れを持つ等、学校の雰囲気良くなる。
- ・ 校種の違いから生ずる子どもたちの心理的不安を軽減することができる。
- ・ 教科指導や生徒指導において、小学校教員と中学校教員の相互の乗り入れが可能である。

デメリットとしては「9年間同一集団で生活をするため、人間関係が固定化しやすい」という点があります。そのため、学級編成を工夫する、他学年・他校との交流の場を設けるといった対応が取られています。

統合対応委員会 活動報告

- 7月 19日 小中一貫教育推進協議会
- 8月 3日 観光文教委員（議員）への訪問
（自治連合会と合同）
- 8月 6日 同上
- 8月 7日 観光文教委員会 傍聴
- 9月 11日 小中一貫講演会ビデオ上映会
- 9月 13日 同上
- 9月 21日 第3回統合対応委員会
- 10月 10日 市との懇談（新チーム結成）
- 11月 13日 観光文教委員会 傍聴
- 11月 20日 副市長との面談（市役所）
教育政策課との面談
（自治連合会と合同）
- 12月初旬 説明会の調整
- 12月 12日 「はばたき」発行

平城西中学校区の 魅力ある教育環境を考える会 が立ち上がりました

右京地区・神功地区の有志が集まり、「平城西中学校区の魅力ある教育環境を考える会」が立ち上がりました。新しい学校をよりよいものにしていくために、意見を出し合い、行政に届けていく活動や、広く情報を伝える広報活動をしています。

神功小学校PTAでは、この会の趣旨に賛同し、活動を応援することが代表委員会で承認されました。

考える会の詳細や「はばたき」ではお伝えしきれない最新情報はHPをご覧ください！



<http://heijo-nishi.group/>

↑↑↑
HPをチェック！